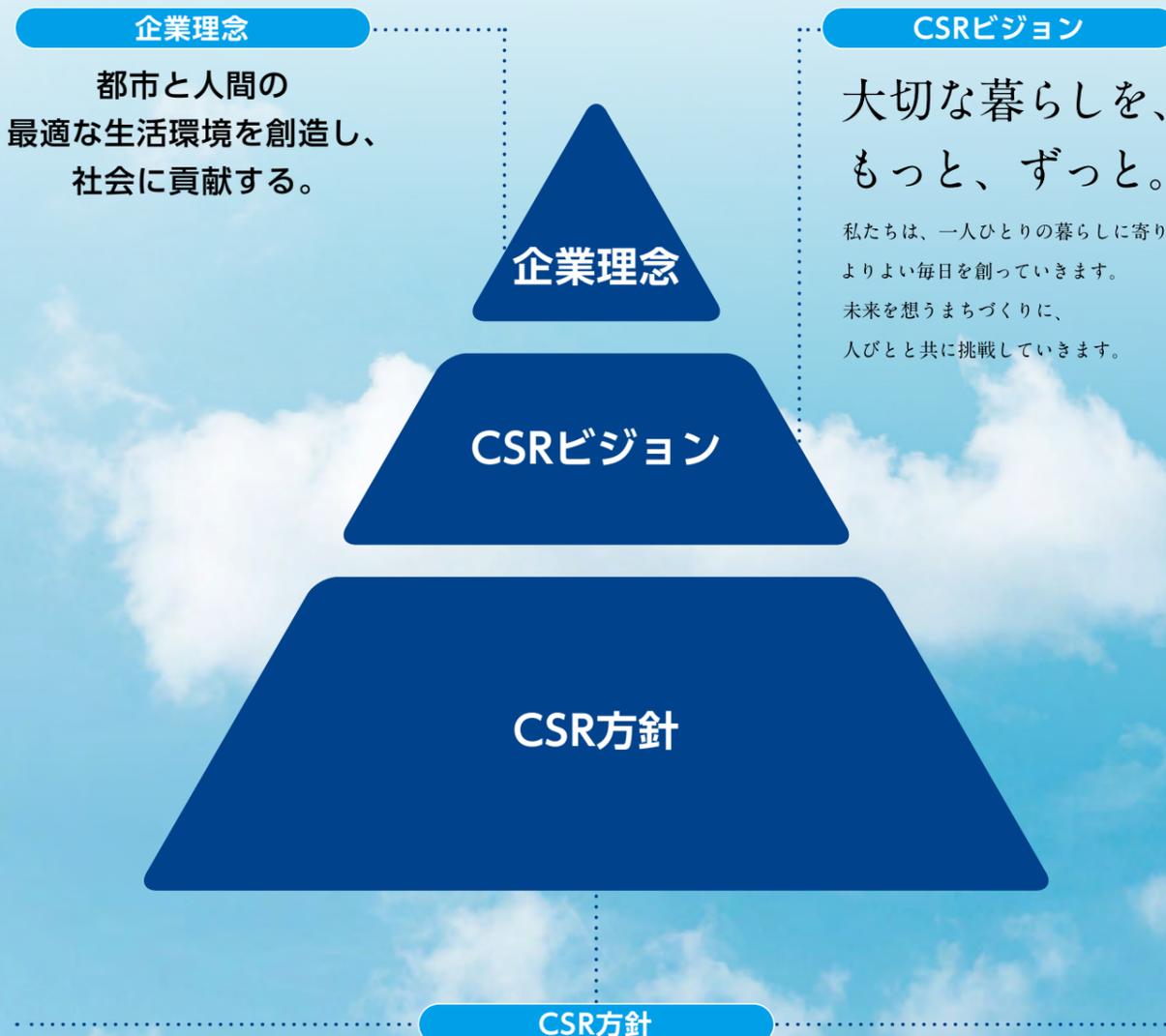


# 長谷工グループのサステナビリティマネジメント

私たち長谷工グループは、長期的な視点に立ち、暮らしを取り巻く社会課題を、事業を通じて解決していくことで、サステナビリティの実現を目指しています。その手段として、2020年に策定した中期経営計画(NS計画)の重点戦略にも定めている通り、CSR経営への取組みを進めています。今後も、住まいと暮らしの創造企業グループとして、企業理念の実現に向け、CSRビジョンのもとCSR活動を推進し、持続可能な社会に貢献していきます。



- 私たち長谷工グループは、CSRビジョンの実現に向け、次の方針のもとに、CSRへの取組みを推進していきます。
1. 住まいと暮らしに関わる幅広い事業を通じて、持続可能な社会の実現に貢献します。
  2. 環境や社会に配慮した事業プロセスの実現に向けた取組みを、ステークホルダーと協働して推進します。
  3. 生活者をはじめとする様々なステークホルダーの期待に応え、社会に新たな価値を生み出し続けていくために、グループ総合力を最大限に活かすマネジメントを強化します。
  4. 企業活動のすべてにおいて、高い倫理観のもとに、法令遵守を徹底します。
  5. CSR取組みの継続的な改善を図っていくとともに、情報開示を積極的に進め、組織としての透明性を高めます。

CSRへの取組み推進の核となるのは、  
私たちが大切にしている  
「**グループ総合力**」です。



## 事業と関連性の深い社会課題とSDGs

SDGsの17目標のうち、長谷工グループの事業と関わりの深い10目標を特定しています。長谷工グループの事業は世界の社会・環境課題と密接な関わりがあることを認識し、事業を通じた課題解決によって、社会価値の創造と長谷工グループの成長を両立させていきます。

## 暮らしを取り巻く社会課題領域

- 気候変動対応
- 生態系保全
- 安全・安心
- 防災・災害対応
- 地域活性化
- 人口動態変化・高齢化社会への対応
- ダイバーシティ推進
- 女性活躍
- 健康・医療・介護
- 職業教育・雇用機会創出
- 保育・子育て
- 持続可能な消費
- 資源循環



## CSRマネジメント体制



## CSR経営の確立に向けて ―中期経営計画「HASEKO Next Stage Plan」

長谷工グループは、「住まいと暮らしの創造企業グループ」としての更なる飛躍を目指して、2020年2月、長谷工グループ長期ビジョン～2030年3月期に目指す姿へと、その実現に向けた2025年3月期までの中期経営計画「HASEKO Next Stage Plan(NS計画)」を策定しました。

NS計画での重点戦略として「CSR経営への取り組み」を掲げ、企業経営とCSRの更なる連動を図ることで、長谷工グループの持続的成長を目指しています。

住まいと暮らしの創造企業グループにおける更なる飛躍を果たすべく、以下の取り組みを進めています。

### CSR経営への取り組み

- 事業を通じた課題解決によって「社会価値の創造」と「グループの成長」を両立させ、企業価値向上を実現
- 長期的な成長を図るうえで重要なESG要素と当社グループの強みをCSR取り組みテーマに取り纏め、CSRの目指す姿として推進

## 4つのCSR取り組みテーマ

長谷工グループのCSRの目指す姿である「4つのCSR取り組みテーマ」の実現に向けた取り組みを推進しています。

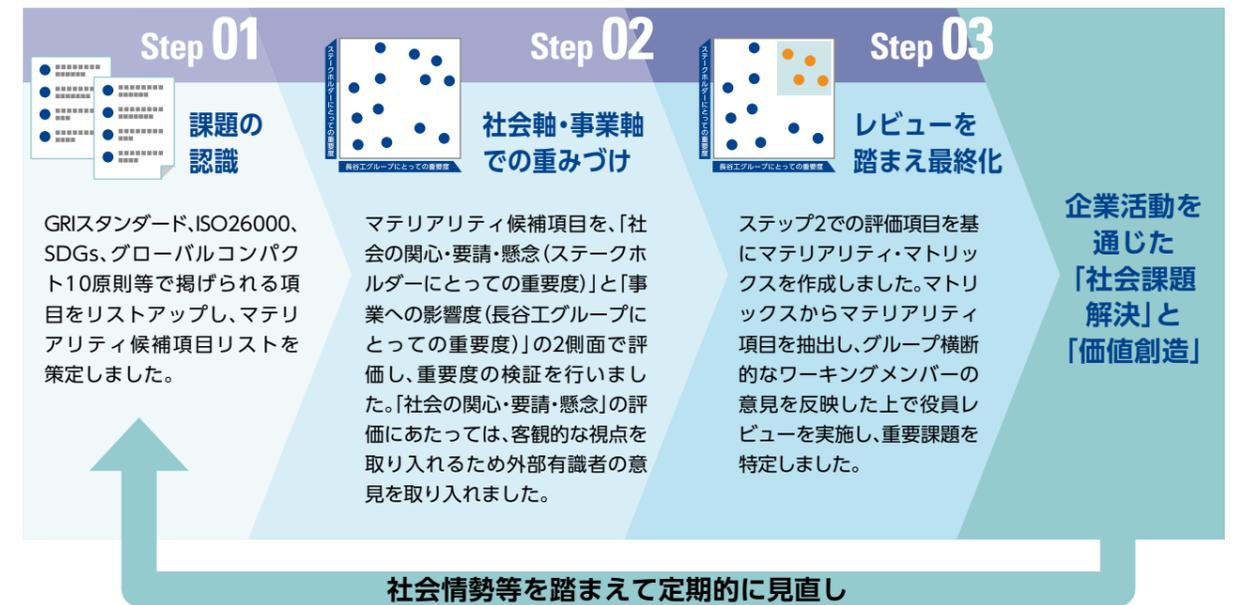
4つのCSR取り組みテーマ	関連するマテリアリティ	関連するSDGs*	ESG
住んでいたい空間	<ul style="list-style-type: none"> <li>持続可能な暮らしとまちづくり</li> <li>製品(サービス)の安全</li> <li>技術開発</li> <li>コミュニティへの配慮と参画</li> </ul>		E/S
働いていたい場所	<ul style="list-style-type: none"> <li>人的資本(ダイバーシティ&amp;インクルージョン・人材育成)</li> <li>労働環境・安全衛生</li> </ul>		S
大切にしたい風景	<ul style="list-style-type: none"> <li>気候変動への対応</li> <li>生物多様性への配慮</li> <li>汚染予防・周辺環境配慮</li> </ul>		E
信頼される組織風土	<ul style="list-style-type: none"> <li>ガバナンス・リスクマネジメント</li> <li>情報開示とエンゲージメント</li> <li>人権の尊重</li> <li>サプライチェーン・マネジメント</li> </ul>		G

\*SDGs…国連の持続可能な開発目標

## マテリアリティ

気候変動やエネルギー問題、少子高齢化、貧困・人権問題など多くの環境・社会課題が山積しており、企業が課題解決に果たす責任は大きくなっています。長谷工グループでは、優先的に取り組むべき課題を事業軸・社会軸の視点で検討のうえマテリアリティとして特定し、CSRを推進する上での指針としています。なお、マテリアリティの内容は、2017年に初めて特定した後、2020年4月及び、2023年5月に見直しを行いました。今後も、経営方針・社会情勢との整合性の観点から適宜見直しを行ってまいります。

### マテリアリティの特定プロセス



### 長谷工グループのマテリアリティ

特定したマテリアリティは、4つのCSR取り組みテーマの要素としてすべて盛り込んでいます。

4つのCSR取り組みテーマとの関連性:

■住んでいたい空間 ■働いていたい場所 ■大切にしたい風景 ■信頼される組織風土



2022年度 長谷工グループCSR行動計画

Table with 5 columns: 4つのCSR 取り組みテーマ, 18の重点 サブテーマ, 創業100周年(2037年) ありたい姿, 2020-2024年度 長谷工グループの取り組み項目, 指標(KPI)/目標数値, 実績. Rows include: 住んでいたい空間, 働いていたい場所, 労働環境・安全衛生, 人材育成・技術継承, サプライチェーン.

Table with 5 columns: 4つのCSR 取り組みテーマ, 18の重点 サブテーマ, 創業100周年(2037年) ありたい姿, 2020-2024年度 長谷工グループの取り組み項目, 指標(KPI)/目標数値, 実績. Rows include: 大切にしたい風景, エネルギー・CO2, 信頼される組織風土, 人権尊重, 情報開示・対話の強化, 社会貢献活動推進, サプライチェーン.

長谷工グループのCSR取り組みと 関連性の深いSDGs10目標

